

新潟大学災害・復興科学研究所
『防災・減災』国際シンポジウムの御案内

■日時：平成25年4月20日(土) 10:00~17:50 (9:30開場)

■会場：新潟大学附属図書館 ライブラリーホール

■定員：260人(入場無料・事前申込み不要)

■シンポジウム次第

開会

10:00~10:05 開会挨拶 新潟大学長：下條文武

研究所活動報告

10:05~10:30 災害・復興科学研究所長：丸井英明「災害・復興科学研究所活動報告」

第1セッション (10:30~12:00) (中緯度地域のマスムーブメント)

10:30~11:15 カンタベリー大学自然災害研究センター：クリストファー・ゴメス博士
「ニュージーランド2011年カンタベリー地震によるマスムーブメントと
関連する災害：地形学的・地質学的見地」

11:15~12:00 災害・復興科学研究所准教授：片岡香子
「日本における火山性湖決壊洪水の地質学的・地形学的検証」

(休憩) (12:00~13:00)

第2セッション (13:00~14:30) (寒冷地域のマスムーブメント I)

13:00~13:45 ブリティッシュ・コロンビア大学教授：デヴィッド・マックラング氏
「危険度評価に基づく雪崩危険斜面の減災計画」

13:45~14:30 名古屋大学大学院環境学研究科教授：西村浩一氏
「日本における最近の雪崩研究」

(休憩) (14:30~14:45)

第3セッション (14:45~17:45) (寒冷地域のマスムーブメント II)

14:45~15:30 東北林業大学教授：シャン・ウェイ氏「中国東北地区高速道路沿線地すべり」

15:30~16:15 東北林業大学：クオ・イン氏「永久凍土地域の地すべり」

16:15~17:00 東北林業大学：ワン・チュンジョウ氏「寒冷地すべりの観測」

17:00~17:45 ロシア地圏環境研究所：アレクサンダー・ストローム博士
「過去に氷河で覆われた河道の閉塞に関わる岩盤すべり及びモレーンの影響」

閉会

17:45~17:50 閉会挨拶 新潟大学理事・副学長：仙石正和

